

子育てと教育を訴えた4年間



私は、4年前の選挙では「子育てと教育」に関する公約を掲げて立候補しました。今回はこの4年間でどうなったかまとめてみました。平成15年6月議会から18年12月議会までの一般質問で取り上げた件数は58件で、そのうち「子育て・教育」に関係するテーマが約三分の一ありました。右表が、その内容です。



4年間をふり返って（実績と課題）

乳幼児医療費助成制度の拡充

4年前は西濃圏域最下位の状態でしたが、平成19年度より通院は小学6年生まで、又通院は中学3年生まで無料となり、岐阜県下トップクラスとなりました。

保育料の軽減・学童保育の充実など

5年間かけて保育料の軽減率25%のところまで保育料を引き下げます。民間の学童保育どろんこ子どもクラブが国庫補助の対象になりました。

少人数学級の推進

岐阜県もようやく平成17年度より「35人学級」を実施（現在小学2年生まで）。但し1学年1学級しかない場合はその対象ではない。大垣市の学習支援事業「スイトっ子プラン」の予算は増やされていますが、犬山市の少人数教育には程遠いのが実態。

学校給食センター建設について

南部給食センター建設事業が財政事情によりPFI方式で一步踏み出しました。“食育”“食の安全”“地産地消”“災害時対応”などの観点で、今後も見守っていきます。

校舎の耐震化について

この間耐震化工事計画が見直され、小中学校の校舎等の耐震化工事を急速にすすめることになりました。

その他

麻しんやBCGなど予防接種の改善、子連れ対応のトイレは今後新設される施設に設置される予定。

前進していない課題

就学援助申請の改善、児童館など子育て拠点の整備が不十分。

H15年9月議会	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数学級の実施について ・学校給食について ・学校選択性について ・校舎など耐震補強工事の実施について
H15年12月議会	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児医療費助成制度を就学前まで拡大を ・少人数学級の実施について
H16年3月議会	<ul style="list-style-type: none"> ・軽度発達障害等の特別支援教育について
H16年6月議会	<ul style="list-style-type: none"> ・移動図書館の廃止について ・予防接種の改善について ・子連れ対応のトイレの改善について
H16年9月議会	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度予算編成に当たり ・乳幼児医療費無料化と少人数教育等実施のため教職員の増員
H16年12月議会	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園の施設整備に関して ・次世代育成支援行動計画策定にあたり
H17年3月議会	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て日本一を掲げた子育て支援策について ・児童館の整備、保育料の減免率、放課後児童クラブの充実
H17年6月議会	<ul style="list-style-type: none"> ・35人学級の実施にあたって
H17年12月議会	<ul style="list-style-type: none"> ・教育予算の使い方について ・少人数教育の推進について
H18年3月議会	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食センター建設事業「PFIアドバイザー業務委託等」の予算化について
H18年6月議会	<ul style="list-style-type: none"> ・就学援助申請について
H18年9月議会	<ul style="list-style-type: none"> ・外国籍の子どもの教育について
H18年12月議会	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査について

1月14日(日)午前
大垣市政学習会

西濃母親連絡会と新婦人の会主催で学習会があり講師として大垣市政についてお話ししました。

1月14日(日)
西濃地域日本共産党新春のつどい開催

井上さとし参議院議員が教基法タウンミーティングのやらせ発言について、岐阜県教委の資料を元に国会質問をするという、住民と連携した共産党の活動を報告しました。写真①

1月19日(金)
荒崎後援会主催で共産党演説会開催

加藤たかお参院選岐阜選挙区予定候補と正岡薫県議選予定候補と笹田トヨ子の弁士で演説会が開かれました。私はなぜ荒崎水害がこんなにも放置されてきたのか、あえて徳山ダムとの関係で話をしました。写真②

1月21日(日)
発災型興文地区防災訓練に参加

大垣市は何時起きてもおかしくない東南海地震の指定地域になっています。水道管から接続するためにどうするか、防災倉庫に何が入っているか、消火器はどこに配備されているか、日ごろのチェックが必要です。看護婦時代、心臓マッサージを行った経験はありますがいざという時即動けるか、実際に体験することの大切さを痛感。写真③

1月21日(日)
西濃民商新春のつどいに参加

4年前は格差社会やワーキングプアといった言葉はありませんでした。小泉構造改革で生活はガタガタ。それを引き継ぐ安倍内閣に住民の声を選挙でぶつけましょう。写真④



① 新年新たにガンバロー



② 荒崎水害早期解決に向けて頑張ります。



③ バケツリレーの様子。日頃の心がけが大切。



④ 中小業者の営業を守る市政を。

小集会開催のお願い

この間、「議会だより」などで市政報告や政策提言を発表してきました。現在「市政について語る」懇談会を各地で行っています。声をかけてくだされば2~3人の井戸端会議に出向きますのでよろしくお願いします。

確定申告のすすめ

年金生活者の中には確定申告を行っていない方もあると思いますが、確定申告を行うことで税額が減ることがあります。医療費控除や社会保険料控除のほか、介護認定を受けている人は「障害者控除」の対象になります。

今年は国から地方への「税源移譲」があり、「所得税」と「住民税」の税率が変わりました。所得税は安くなりますが、6月に通知される住民税は5%から10%の税率となり、また定率減税の廃止もあり大幅な増税になります。増税の影響は、国保料や介護保険料にも大きく影響します。少しでも税負担を軽くするため確定申告を行うことをお勧めします。

確定申告を行った方がよいかわからない方はご相談ください。

(連絡先: 78-6865)

笹田トヨ子活動日誌